

県春季高校野球

春季県高校野球大会(岐阜新聞・ぎふチャン後援)最終日は30日、長良川球場で決勝と3位決定戦を行い、決勝で大垣

日大が中京院大中京に12-1で快勝し、6年ぶり2度目の優勝を果たした。3位決定戦は岐阜各務野が8-6で土岐商を下した。

一日、名古屋市内で行われ、九回にも都筑、宮坂に適時打が飛び出し、最後まで攻撃の手を緩めなかった。

大垣日大は序盤に宮坂元規の2打席連続2点適時打などで6点の大量リード。中盤以降にも着実に加点し、16安打の猛攻で12点を奪った。岐阜各務野は、3度も追い付かれる苦しい展開だったが、終盤に敵失や四球押し出しで2点を勝ち越し、振り切った。

優勝の大垣日大と準優勝の中京院大中京は、春日・三重県に出場する。季東海大会(5月26・28日)組み合わせ抽選会は同16日、名古屋市内で行われる。

16安打12点猛攻

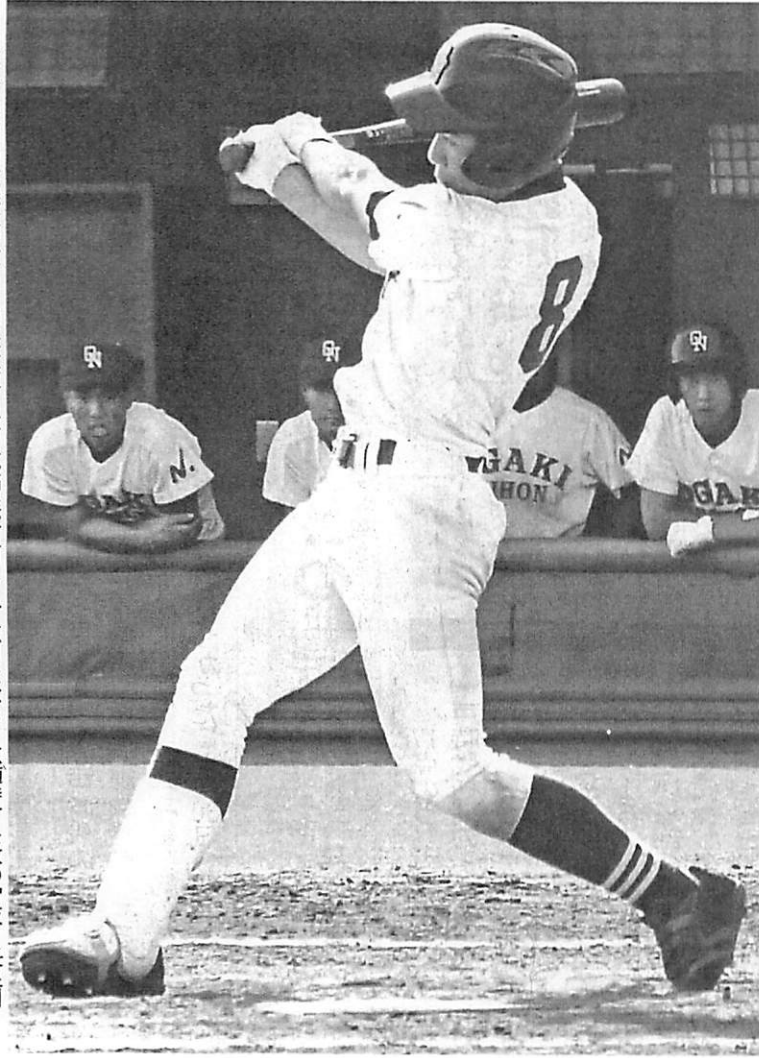
V ストリー

序盤につくった勢いを、大垣日大ナインは最後まで手放さなかった。中京院大中京との決勝

は、戦前の予想とは違って12-2と点差が開いた。意外にも春の優勝は2度目。阪口慶三監督は「そんなに(優勝)してなかったのか」と6年ぶりの栄冠を喜んだ。

だ中京投手陣から16安打。特に猛威を振るったのが、昨夏でも主軸を経験した宮坂元規。放った3安打は全て2点適時打で、阪口監督から「やつと4番らしくなった」と合格点ももらった。

自らに課した「フェアリーストスライクを逃さない」という打撃テーマが奏功した。一回は1ボールからの直球を中前打、二回は初球のフォークを右方向への三塁打とした。序盤で重ねた4



大垣日大×中京院大中京 9回表大垣日大1死満塁、右前に6打点目となる2点適時打を放つ宮坂元規(長良川)

主砲宮坂、圧巻の6打点

Table with 10 columns: 振球, 安打, 打点, 得点, 犠打, 犠飛, 盗塁, 失投, 併殺, 残塁. Rows include individual player stats and a total row.

当然、東海大会も優勝を狙いにいく。指揮官は「夏の前哨戦だと思ってる。まだ守備が甘い。徹底的に鍛え直します」と表情を厳しくした。名將の指導で、ナインはさらに強さを増していった。(日本書史)

昨日の岐阜大会決勝で中京に敗れた悔しさを忘れずに冬を越し、ひとまず春でリベンジを果たした。例年以上に走り込みを増やした阪口監督は選手たちを「(猛練習をこなしてきた)鬼軍団」と命名。宮坂も「冬場の練習はすごかった。監督も鬼になってきている」と答える。

打点を「先発の修行(恵大)を助けたら一心だった」と一言。九回にも1死満塁から、極めつけの2点右前打が飛び出し「しっかり自分のスイングができた結果」と完璧な仕事ぶりを振り返った。

Scoreboard table for the game between Daiei University and Nakagyo University. It lists runs, hits, errors, and other statistics for both teams.

大垣日大が中京院大中京投手陣を攻略して大勝。宮坂の2本の2点適時打など、二回までに7長短打を集めて6点をリード。九回にも都筑、宮坂に適時打が飛び出し、最後まで攻撃の手を緩めなかった。

中京は、大垣日大の修行、石川の継投策から7回、2点を返したのみで追い上げられなかった。